

# つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2017年

あけまして  
おめでとう  
ございます



今年は  
とり年だワン!

今年もよろしくお願い致します。

新年明けましておめで  
とうございます。新しい  
一年を皆様と共に無事に  
迎えることができ、とて  
も嬉しく思います。厄年  
はいよいよ出番の年が  
来ました!という決意で  
もって「役年」に変えてみ  
せます!感動・創庫の芦  
川永光です。

昨年はいろいろな場所  
に移動をし、そこで多く  
の時間を費やしたため、  
地元のお客様とおでこを  
突き合わせてお話しする  
機会が少ない一年だった  
ことを、まずはお詫びし  
なくてはなりません。

青年会議所では最後の  
一年間をやり切って、ま  
ちづくりについての学び  
や最も苦手で逃げてきた  
経理や書類管理などのス  
キルも習得できました。  
そして、一昨年の夏から  
続く、世界会議のボード

メンバーとして、関西圏  
を中心に活動していまし  
た。留守が多かった分、い  
ざという時に会社にいな  
いことでご心配をお掛け  
したり、タイミングが合  
わない不都合もあって、  
多くの方々へご迷惑をお  
かけしたのではと感じて  
います。今年は酉年です  
から、鶴は恩返ししなく  
ちや!という思いです。

自転車操業から  
ちよっと安定へ

感動・創庫は創業から  
今年でえーと...、9年目  
になりますね。当時から  
相変わらず貯金はほとん  
ど残さず、やりたいこと  
をやるだけやって、あ  
ればあるだけ使って走り  
続ける、いわゆる自転車  
操業を続けてきました。  
そこで昨年は、スタッフ  
の努力と多くの信頼ある

年賀

感動創庫  
料金後納  
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103  
TEL: 0463-79-9777  
http://kando-soko.com  
発行編集責任者: 芦川永光

方々のご協力によって、嵐が来ても吹き飛ばない、地に足がついた状況を作ることができました。会社になって多分初めての、「安定した!」という実感です。

### 変わり者集団が つくる未来へ

しかし!安定を離れなくては、新しいものは得られません。暖かい布団の中でいつまでも寝ている時間も好きですが、今はそんな時間ももつたない!私たちの存在意義はやはり、自由に発想して、身軽に動く、ちよつと無謀な変わり者の会社であることだと思えます。変わりゆく時代の

「変わり者集団」であることが、これからも感動・創庫の価値です。アホと評されることが喜

びになり、褒め言葉であり続けるよう、チャレンジを続けます。

とにかく今年は、昨年まで積み上げたものを、お客様に還元する恩返し的一年です。妻を仕事でブンブン振り回せるのは、出産を考えるとひと月程度しかありません。焦りまくっています。焦りまくるべくして来た乗り越えるべき壁!チャーンス!夫婦経営の感動・創庫が、どうやって化けるのか、見守っていただけら幸いです。

今年一年、みなさまと共に一秒でも多くの時間を過ごせますようにと願っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 2017年の開運カード

今年も、お送りいたします!!



今年の開運カードです!!

新しい一年、あなたにたくさんの幸運に満たされるよう、開運デザイナーに特別にお願いし、「2017年開運カード」を作成しましたので、お送りさせていただきます。

酉年のモチーフとして中心にあしらったのは、今年のラッキーカラーの一つであり、幸福の青い鳥をイメージした青の鳳凰。加えてラッキーカラーであるゴールドとシルバーを下地に、「永遠、子孫繁栄、幸福が回り続ける」などの意味がこめられた、吉祥感ある「唐草模様」をあしらっています。

四方には、新しい年の始まりを慶び、「すべてはあなたの思うとおりになるように」という意味の「万事如意」の漢字四文字。2017年があなたにとって夢叶う、繁栄のある一年であることを表しています。

風水では、運気は、玄関やドアから入ってくると言われていますので、裏面に、今年の願いをひとつ書き出し、玄関や部屋のドアの目につくところに張り出して、それを叶えるたくさんの運気を引き寄せてください。

今年一年、たくさんの善いことがありますよう、心より祈っています。

### 編集後記

#### 報われたね



ほぼ毎日、仕事をしている時間も寝ている間も同じ部屋で一緒なので、1日平均22時間超の時間を共に過ごしている妻から、一年間を労ってもらいました。

約2年半所属していた伊勢原青年会議所を、満40歳となった昨年いっぱい卒業いたしました。そして最後の一年

に委員長という役をいただき、これによって最優秀賞という大変名誉な賞をいただきました

た。大好きになった伊勢原のまちをとにかく良くしたいと思つて、必死こいてやりました。結果が出ないことの方が

る場面です。全力サポートしてくれた妻のおかげでした。なので、最優秀賞は夫婦で受賞!という思いなんです。

頑張っている人から「頑張った!」と褒められた2016年は、生涯で最も充実していたなあ振り返ることができたのです。今年も「頑張った!」と言ってもらえるように、今ここから頑張ります!

賞を与えてくれたメンバーは、私の視野が狭まっていた分、よく見てくれていたのだと感じました。「ありがとうございました」は何度言っても言い足りないくらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして思い出す限り、生涯最も起きている時間が長く、仕事も合わせて忙しくて卒業しそうな一年を風邪知らずで元気に過ごせたのは、あらゆる

「この人頑張っている!」って言うのはどうあれ主観的ですが、私の一番近くで最も

